

当社では “Mobile-GIS” を活用しています！！

■ “Mobile-GIS” とは？

これまで現地調査では、野帳を持参して記録していましたが、野帳に変わるものとして、“Mobile-GIS”を開発しました。

“Mobile-GIS”とは、GPS等の位置特定技術やGIS技術と情報端末機器(タブレット等)を利用し、各種情報を記録するシステムです。

■ 主な活用分野

- ・動物調査
- ・猛禽類調査
- ・林業分野
- ・河川域調査
- ・植物調査
- ・河川水辺の国勢調査
- ・UAV分野
- ・農業分野

■ 御客様のメリット

● 重要種等のデータをもれなく抽出・記録・報告します。

現地で、年々増加する重要種や外来種を照合するのに手間がかかっていましたが、当社では“Mobile-GIS”を活用することで、もれなく重要種・外来種を抽出・記録し、報告いたします。

● 現地調査データをより迅速にお届けします。

従来は紙野帳に記録し、事務所で入力していましたが、現場で“Mobile-GIS”に入力することで、事務所での作業が大幅に削減できます。その日のうちに、速報を電子データでお渡しすることも可能となりました。

■ 機能

● 各種入力

- ・入力は、サジェスト入力により、入力効率を上げるとともに誤入力を防止
- ・重要種や外来種等の基準データは、追加・削除が可能
- ・重要種を入力した場合は、自動的に地図画面にジャンプするため、記録漏れを防止
- ・生息・生育確認環境等のテーブルは、追加・削除が可能
- ・猛禽類データは、調査当日にデータを統合し、翌日の調査員へデータを配布することが可能

● 図面 ※オフラインで使用するので、インターネット環境は必要ありません。

- ・図面は、複数種類の配置が可能（地形図や航空写真などをボタンで簡単に切り替えられます）
- ・御客様から頂いた紙図面も、位置情報を付加して利用可能。図面だけでなく、オルソ写真等も配置可能
- ・図面は、shape、jpg などのような図面でも利用可能（GISで“Mobile-GIS”に読み込める形式にコンバート）

● 出力

- ・各種入力データは、CSVにて出力できるため、エクセル等ですぐに利用可能
- ・図面データは、GISで利用可能なshapeで出力

● GPS ログ

- ・GPSログを一定間隔で保存するため、踏査ルート等も自動で記録

● バックアップ

- ・データは、外部メモリに自動バックアップ



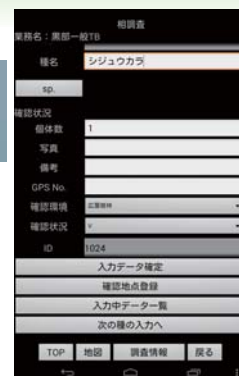
【各種画面イメージ】



【背景図】※航空写真配置例



【猛禽類調査】



【鳥類調査】